

自然エネルギー信州ネット設立総会議事録

1. 日 時：平成23年7月31日（日） 10:30～11:40
 2. 場 所：茅野市 諏訪東京理科大学448教室
 3. 出席者数：103名
（発起人:22名・正会員:21名・準会員:12名・賛助会員:1名・傍聴者・同行者:46名）
 4. 審議事項
 - 第1号議案：設立趣意書に基づく自然エネルギー信州ネット（仮称）設立の意思決定について
発起人より、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
 - 第2号議案：組織の名称及び規約について
発起人より、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
 - 第3号議案：役員等の選任について
発起人より、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
 - 第4号議案：平成23年度事業計画について
発起人より、平成23年度の事業計画を報告し、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
 - 第5号議案：平成23年度予算について
発起人より、平成23年度の予算計画を報告し、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
- その他：地域協議会の立ち上げについて

(参考)

第2号議案に対する質疑応答

- 会員の区分で、個人が準会員となるのは何故か。正会員では不都合なのか。(参加者)
 - ・すべての個人を正会員とすると、意思決定の際などになかなか収集がつかなく整理が出来なくなることも考えられる。
 - ・7月25日の打ち合わせ会議の場でも議論となったが、意思決定には枠を設けた方が良いということを確認した。(発起人)
- 正会員の団体の定義とは。(参加者)
 - ・任意の団体であり、2、3人のグループであっても団体とする。ここに制限は設けていない。(発起人)
- 個人を準会員として区別するのはどうか。正会員に含めてほしい。(参加者)
 - ・信州ネットが始動しこれから進めていくなかで、やはり個人が信州ネットに直接関わるべきと判断された場合には、改則する。(発起人)
 - ・地域協議会はこれから徐々に立ち上がる。この地域協議会において、今後個人がどう関わるかが重要であり、その状況に応じての改則もありうる。(発起人)
 - ・県レベルの推進組織は、地域協議会の下支えをする。地域協議会は、自然エネルギーに興味があり、取り組みたい様々な方に入って頂き、活発な発言、意見交換しながら運営していく。地域協議会の代表は、県レベルの推進組織にも入っていただく。準会員は県レベルの推進組織の総会において、議決権は持たないが、参加も発言もできる。(発起人)
- 会則案6条①の「専門分野の研究者は正会員となることができる」とあるが、専門分野とはどう規定するのか。また、会則案6条③「反社会的な活動を行う団体やこれに従事する者」とはどういう団体を定めるのか。(参加者)
 - ・会則案6条①について、専門分野の規定については、特に設けてはいないが自己申告とする。個人的に研究しており、その専門知識を活かしたい方なら研究者として申告できる。
 - ・会則案6条③について、各種規定には設けられることの多い項目である。具体的には定めていないが、反社会的活動を行っているを受けとれる団体については、申込みの際に役員等で議論、判断し断ることとする。(発起人)
- 「正会員」「準会員」の区分について、その呼び方を「企業・団体」「個人」してはどうか。また、こうした会では、外国人の参加を嫌う傾向にある。定住外国人は参加できると規定してもらえると安心して参加できるのだが。(参加者)
 - ・会員の区分の名称について、「企業・団体」とすると、例えば会の議題について、社に持ち帰って議論しないと決められないということが生じかねない。信州ネットでは、各種団体を代表するものが個人で参加し、決定事項について、それぞれの所属団体に伝達、反映する努力をすとしてしている。(発起人)
 - ・入会者の国籍は問わない。関心を持っている方であれば、国籍や県外在住であってもそれを問わず参加頂きたい。(発起人)

第3号議案に対する質疑応答

- 役員等の候補者を見ると、男性ばかりで女性が一人というのはいかがなものか。
決定までに時間があるのなら、男女含め、いろいろな方を公募してはどうか。(参加者)
 - ・今後各地で学習会等を開催し、地区協議会が立ち上がってくるのもこれから。地域協議会の代表は、県レベルの推進組織において理事として参加いただくことになる。配布資料の役員候補者は、設立当初の役員であり、今後増やすこともできる。今後はぜひ推薦もして頂きたい。(発起人)
 - ・この場でどなたか推薦したい方がいるか。(発起人)
- 役員に葦木美咲さんを推薦したい。(参加者)
 - 本人の参加意思および参加者の挙手による満場一致で決定。

第4号議案に対する質疑応答

- 電力会社との協議、交渉は誰が行うのか。また、その際の信州ネットの関わりはどのような形となるのか。(参加者)
 - ・今後勉強会、意見交換会を通して立ち上げていく制度に関する専門部会や、同様の取り組みを行っている既存の企業、団体等とも協同してやっていく。信州ネットとしては、電力会社との交渉等に関わる課題の共有、アプローチの仕方、規制緩和の方法等について議論、検討に取り組むイメージ。(発起人)
 - ・我々の所属する企業にも東日本大震災以降、問合せが多数ある。県内でも再生可能エネルギーに参加、出資する仕組みができていき、それらが取り組み易ければ、大勢の参加があるだろう。取り組みやすい仕組みが今後出来て欲しい。(発起人)
- 普及させたくとも、どこも電力会社との交渉に苦労している。信州ネットが組織として、具体的にどう取り組むのかを明確にしていきたい。考えがあるなら聞きたい。(参加者)
 - ・県では、中部電力と常に情報交換を行っている。中部電力との対話の仲介は県でも行っていきたい。信州ネットでの検討内容等は、これまでも公開してきており、中部電力とも情報を共有し、今後も意見交換していく。(発起人)